

2021 年度・事業計画書

"Smile and Warmth"



社会福祉法人 山梨檉の会

1. 法人本部

昨年の今頃は、「2021年度には、新型コロナウイルス感染症も終息して日常を取り戻せるだろう」と安直な考えを持っていた。しかし、実際には新型コロナウイルス感染症の脅威は未だ続いている。緊急事態宣言に伴う飲食店の時短営業や不要不急の外出・移動の自粛などにより、感染者数は全国的に減少しているが、変異型の新型コロナウイルスが確認されるなど一進一退の様相を呈している。この状況を打破するためにワクチン接種の重要性が高まっている。先行してワクチン接種を行なっている欧米諸国では新規感染者数が明らかに減少している。国内でも医療従事者から徐々にワクチン接種が実施されている。今後、段階的に全国民にワクチン接種を実施する予定であり、新型コロナウイルス感染症の抑制につながると期待される。当法人では職員一同、昨年一年間自らを律し、ご利用者の安全を第一に考え、感染予防対策を徹底してきた。そのため、ご家族の皆様にも面会制限など多くのご無理をお願いしたが、深いご理解いただき大変感謝している。職員もきつく辛い部分もあると思うが、福祉のプロとして今後も気持ちを切らさずに、ご利用者の安全確保に努めていく。早々に新型コロナウイルスが終息し、ご利用者やご家族とともに楽しい日常を取り戻したいと願っている。

さて、今年度は、介護報酬や障がい福祉サービス改定の年である。厚生労働省は今回の介護報酬の改定について、『新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年に向けて、2040年も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」を図る』としている。改定率はプラス0.70%である。

一方、障がい福祉サービスの報酬改定については、『障害者の重度化・高齢化を踏まえた地域移行・地域生活の支援、相談支援の質の向上、効果的な就労支援、医療的ケア児への支援などの障害児支援の推進、感染症等への対応力の強化などの課題に対応』としており、改定率はプラス0.56%である。どちらの改定も「感染症や災害などの対策・対応強化」を掲げ、現代の世相を反映させる内容となっている。また、3年前の改定に引き続き、高齢者や障がい者が地域で支援を受けながら生活できる「地域包括ケアシステムの推進」は厚生労働省肝いりの施策であり、このシステムの実現に向けて全国的に加速していくことになると考えられる。当法人では、今回の改定をよく理解しながら、「総合的（包括的）“人生”支援（支援を必要としている人の人生を支える）」の実現に向けて発展的な事業運営を行なっていくこととする。

法人本部では、昨年同様、組織ガバナンスをさらに強化することにより、組織を効率的に管理し成果に繋げていけるようマネジメントしていく。具体的には、法人本部と各事業所の書類の統一化による情報共有の徹底、職務の責任・役割を明確な分掌化による階層的管理システムの構築、スケールメリットを活かしたコスト削減などを行なっていく。また、各事業所の代表委員による「マニュアル作成委員会」と「人材育成委員会」を継続し、業務マニュアルの統一化や法人の将来を担う人材の育成などを確立する。また、All Smiles計画Vol.2（2020年度～2024年度）による「総合的（包括的）“人生”支援」の実現に向けて、新規事業を発展的かつ体系的に整備し、支援の包括化・経営の多角化を実現していく。昨年度同様、障がい児童の療育支援や障がい者の就労と生活を支援する事業などを計画し整備する。

コロナ禍でも創意工夫を凝らしてご利用者や児童が「日々の幸せ」を感じられるような支援を提供する。そして、地域に根ざした法人として、支援を必要とする人の人生を支えるシステムを確立していく。

年間目標、取り組み：

- 1.目標：ガバナンスをさらに強化し、体系的組織運営の充実を図る。
取り組み：組織内の業務の効率化・スリム化、職務の責任・役割を明確に分掌化、スケールメリットを活かしたコスト削減を徹底する。
- 2.目標・取り組み：マニュアル作成委員会にて、業務内容をマニュアル化し、業務を統一化することによって画一的な質のレベルの確保と業務の効率化を徹底する。
- 3.目標・取り組み：人材育成委員会にて、職員全体のスキルアップと法人の将来を担う人材を育成するために体系的な教育制度を確立する。
4. 目標・取り組み：All Smiles 計画 Vol.2 に基づき、障がいを持つ就学児への支援として『放課後等デイサービス』を整備する。障がいを持つ青年、壮年の就労などの社会的活動『生活介護、就労継続支援、訪問系サービス、相談支援など』や生活の支援『共同生活援助・グループホーム』を行うための事業を整備する。
5. 目標・取り組み：介護老人保健施設甲府相川ケアセンターの食事提供サービス業務委託に係る新規業者を決定する（現在の委託業者との契約が 2022 年 3 月 31 日付で満了となるため、2022 年 4 月 1 日からの業務委託を担う業者を決定する）。
昨今の新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、公募型プロポーザルを実施する。

理事会・評議員会開催計画

月日	会議名	内 容
5 月中	理事会	2020 年度事業報告・決算報告、評議員会日程等
6 月中	評議員選任解任委員会	評議員選任等
6 月中	評議員会	2020 年度事業報告・決算報告、理事選任等
6 月中	理事会	理事長選任等
10 月中	理事会	2021 年度第一次補正予算等
10 月中	評議員会	2021 年度第一次補正予算等
3 月中	理事会	2021 年度第二次補正予算、2022 年度事業計画・予算等
3 月中	評議員会	2021 年度第二次補正予算、2022 年度事業計画・予算等

定例行事計画

月日	会議名	内 容
4 月 1 日	入職式	2021 年度新卒者等の入職セレモニー

会議・委員会活動計画

月日	会議・委員会名	内 容
第4木他	運営戦略会議	各事業所管理者との連携により、情報の共有化によるガバナンスの強化と戦略的な組織運営を促進する。
第4木・金他	事業戦略会議	事業所従事者との連携を深め、サービスの質の向上や業務の効率化、職員処遇の改善など事業所運営の適正化を図る。
第3火	マニュアル作成委員会	業務内容をマニュアル化し、業務を統一化することによって画一的な質のレベルの確保と業務の効率化を徹底する。
第3水	人材育成委員会	職員全体のスキルアップと法人の将来を担う人材を育成するために体系的な教育制度を確立する。
第4金他	広報委員会	全事業の情報をカバーした広報誌等を発行し、法人全体の社会的認知度の向上に取り組む。
第4金他	親睦会委員会	職員相互の親睦を図ることにより、他者理解と協働意識を養い、職員間のより一層の信頼・協力関係を構築する。

内部研修計画

月日	研修名	内 容
随時	新人職員研修	法人理念、組織運営、接遇・マナーなどの基礎的理解

広報誌発行計画

月日	行事名	内 容
7月10日	かしのかいだより	法人全体の事業活動などを紹介する。
1月10日	かしのかいだより	法人全体の事業活動などを紹介する。

健康診断計画

月日	内 容
8月中	一般健康診断

清掃計画

月日	内 容
毎日	車両清掃を行う。

福利厚生計画（職員）

月日	内 容
8月中	職員合同親睦会
12月中	職員合同忘年会

2-1. 児童養護施設 あいむ

2021年度は、個性豊かな児童一人ひとりの強みと課題に寄り添っていくため、昨年同様誠実に児童と向き合いつつ、「モディファイ＝修正」をキーワードに支援する。児童に求める画一的な支援は、児童の背景や特性に沿わず、時として児童に生きづらさや息苦しさを感ぜさせるものであった。養育者としての理想や思いを貫くことが全てだとする“頑固者”にならないよう、身近な大人である職員が常に自分が間違っていないか考え続け、修正し続けることを意識したメリハリのある「寛容で思いやりある支援」を心掛け、時と場合によって変わる児童の思いを優先し「今」を支えていく。

他方、児童の退所後の安定した生活には、計画性ある金銭管理が欠かせない。支援の基となる自立支援計画の第一事項に金銭管理項目を表示し、奨学金や貸付金の取得を見据えた退所後の生活が破綻しないよう、管理の習慣付けを妥協せず実施していく。

2-2. 若者自立サポートセンター いっぱ

2021年度は、昨年8月からの受託経験を発展的に活かした事業展開を行う。各関係機関や相談者との信頼関係を強固にするため山梨県からの仕様書に基づき人員増を行い2名体制とし、県内全域及び県外への支援をくまなく展開出来るようにして、相談を待つ支援ではなく、よりフットワーク良く・より身近な相談窓口として活動する。施設退所を控えた児童や退所後の青少年は様々な不安や課題を抱えていることから、どのような相談にも対応出来るスキルが求められる。

各施設が徐々に自立支援コーディネーターを配置することが予想されるなか、県下のアフターケアを主導していくこととなる。with コロナのなかでも取り組むことの出来る研修や他県事業の取り組み見学、聞き取りなども行う必要がある。

年間目標、取り組み：

1.目標：今まで醸成してきた児童と職員の身近な距離感を活かし、あいむの「強み (strength)」となるライフストーリーワークのエキスパート施設を目指す。

取り組み：①ライフストーリーワークに関わる研修に参加し、全職員が勉強会に参加する。

②個別時間を創出し、共に生き立ちの整理をすることであいむで生活している意味を理解し、自分自身と向き合う力を育む。

2.措置成績に関わる事業計画

目標・取り組み：性差や年齢にこだわらないユニット作りを目指し、措置打診を積極的に受入検討していく。空床を活用し、ショートステイや一時保護委託を受け入れていく。

3.職員採用に関わる事業計画

目標・取り組み：コロナ禍が落ち着くであろう下半期には実習生を積極的に受け入れ、新卒採用者を最低1名は確保する。

4.清掃に関わる事業計画

目標・取り組み：児童・職員が日々整理整頓に取り組むことで「規律・清潔・安全」を確保した快適な生活空間を作る。

各課の年間目標

児童指導員・保育士：

目標：一人ひとりの「今」に沿った生活上の達成可能な決め事を定め、自立支援計画に活かす。

取り組み：月1回職員が担当児童のエコマップを作成する。

支援相談員：

目標：児童の里親委託や家庭復帰の可能性を高めるための支援を展開する。

取り組み：児童の意志や将来を常に優先し、各関係機関とのスムーズな連絡調整を行っていく。

心理担当職員

目標：全児童への心理的アプローチを常に行い、全職員と連携して心理的な支援を定着する。

取り組み：箱庭療法やプレイセラピーを活用し、全職員と心理的評価を共有する。

自立支援コーディネーター：

目標：関係機関への浸透を図り、県内のアフターケアを先導できる。

取り組み：外部機関へのアプローチを日頃から積極的に行い、講習会などをスムーズに実施する。

事務局：

目標：無理・無駄をなくし、早退、遅刻、欠勤の少ない勤務表を遵守出来る職場環境を先導する。

取り組み：全館を日常的に巡回し、節約や感染症対策を先導する。

定例行事計画

月日	行事名	内容
毎月該当日	誕生日会	対象児童の嗜好メニューやプレゼント提供
年3回	ユニットレク	ユニット毎意見を集約してのレク（1ユニット年3回）
年2回	個別レク	担当児童と職員の信頼関係強化のため、時間を共有
4月3日前後	お花見	貢川沿いの芸術の小径を少人数グループで散策
5月3日	寄せ植え教室	山梨花き若手会による少人数グループでの寄せ植え教室
8月1日～7日	川遊び・バーベキュー	ユニット毎感染リスクの低い屋外レクを実施
9月11日～12日	八ヶ岳自然教室	戸沢財団主催による小グループ登山等（感染状況による）
10月31日	ハロウィン	ユニット毎の仮装パーティー

11月20日	ディズニー	児童職員によるディズニー日帰りツアー(感染状況による)
12月24日	クリスマス会	ユニット毎クリスマスディナーとプレゼント贈呈
12月25日	TOYRUN	バイク愛好家によるプレゼント贈呈(感染状況による)
12月28日	餅つき	かしのみ学園と合同での餅つき
1月4日	ウインタースポーツ	八ヶ岳近郊スキー場でのスキースノーボード体験
2月3日	節分	ユニット毎の恵方巻き作りと豆まき
3月5日	門出の会	高卒退所児を皆で祝い、エールを送る

会議活動計画

月日	会議名	内 容
第1金	全体職員会議	全職員で児童処遇検討他、業務上重要事項を確認する。
第3木	アフターケア会議	法人内各部署のアフターケアに関する状況把握、検討等。
平日13時	定例午後会	児童生活状況の共有及びミニ事例検討、業務確認を行う。
毎火14時	処遇会議	心理士と職員による児童の近況共有と支援検討。

委員会活動計画

月日	委員会名	内 容
第1金	学習支援委員会	通塾・公文・英検漢検等施設内学習の実施主導と調整
第1金	研修・リスク委員会	各種研修・防災訓練等の企画と実施検討
第1金	給食委員会	調理献立買い出し等に関する確認検討、食育活動
第1金	行事レクリエーション委員会	行事・レクリエーションに関する企画・実施の検討

内部研修計画

月日	研修名	内 容
奇数月第3金	事例検討会	外部講師を招いての事例検討(上半期はwebにて実施)
4月1週	新人職員	新人職員のオリエンテーション他業務レクチャー
5月7日	性教育	児童の性リスクについての理解
6月4日	衛生管理	館内清掃とキッチンやトイレの衛生管理
9月3日	事故防止	ヒヤリハットの評価検証
10月1日	権利擁護	児童の権利を保障するための講義
12月3日	虐待防止	施設内虐待防止のための講義

行事食計画

月日	行事名	内 容
毎月該当日	誕生日会	児童の嗜好に合わせた特別メニュー
4月2日	お花見弁当	春を感じさせるお花見御膳
4月8日	入学御膳	お赤飯を入れたお祝いメニュー

5月5日	こどもの日御膳	こどもの日を祝う夕食
7月7日	七夕	七夕に合わせたメニュー提供
7月21日	土用丑の日	うなぎの提供
9月13日	十五夜	月見団子作り
10月31日	ハロウィン	かぼちゃを使ったメニュー提供
11月23日	ほうとう	手打ちほうとうを囲み、山梨の食文化を学ぶ
12月25日	クリスマス	児童の嗜好に合わせたクリスマスメニューの提供
12月28日	餅つき	毎年恒例の餅つき大会
1月1日	お正月	手作りおせちの提供
2月3日	節分	手作り恵方巻の提供
3月3日	ひな祭り	児童の嗜好に合わせたひな祭りメニューの提供

防災訓練計画

月日	消防の派遣	内 容
4月30日	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）火災想定
5月28日	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）地震想定
6月25日	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難）水害想定
7月30日	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）火災想定
8月27日	有	日勤帯想定訓練（通報・避難）池田地区防災訓練と連動
9月24日	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）火災想定
10月29日	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難）地震想定・通報訓練を付帯する
11月26日	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）地震想定
12月24日	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）火災想定
1月28日	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難）地震想定
2月25日	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）火災想定
3月25日	無	夜勤帯想定訓練（通報・避難）水害想定

地域ボランティア活動計画

月日	内 容
小中夏休み中	児童が参加するラジオ体操や球技大会の補助・支援
10月9日	自治会子どもみこし運営参画
11月23日	八幡神社（自治会館）清掃
12月11日	自治会クリスマス会運営参画

健康診断計画

月日	内 容
8月3日10日	一般健康診断

2月15日	夜勤従事者健康診断
-------	-----------

清掃計画

月日	内 容
3月	専門業者による屋内外の清掃・整理整頓
月1回	担当職員による児童居室の状況確認及び整理整頓
毎日1回	職員による敷地内清掃

福利厚生計画（職員）

月日	内 容
年3回	内規に沿い1人年3回（1回3,000円）支給し親睦を深める
年1回	法人忘年会に積極的に参加する

3. 自立援助ホーム MIRAI

2021年度は開設3年目となり、入居者増にて満床下での運営開始となる。入居者の人生経験増や生活満足度向上のための余興的取り組みの実施と生活スキルの向上のための支援を展開し、ただ生活するだけの場所ではなく、将来を見据えた MIRAI 独自の自立支援を確立していく。

目標設定を入居時から明確にして、「意志あるところに道は開ける」よう日々の振り返りを大切な時間として入居者とスタッフが共有する。県内唯一の自立援助ホームとなるなか、関係諸機関の MIRAI への期待は大きくなると予想される。コロナ禍で積極的に展開出来なかった潜在的ニーズの発掘にも再度チャレンジし、若者のセーフティネットの一つとして新たな歴史を積み上げていく。

年間目標、取り組み：

- 1.目標：5名以上の在籍児童を確保して安定した運営状態を維持する。
取り組み：関係機関との連携を図り、常時ホームへの入居相談に応じる。
- 2.目標：在籍児童が個々の能力に応じた生活習慣を身に付けることができる。
取り組み：個々の自立目標を明確に設定し、その目標に精進できるよう支援する。
- 3.目標：在籍児童が健康に留意し、規則正しい生活を送る
取り組み：声掛けや掲示物で寮生の意識を高め、欠勤欠席が無いよう健康に過ごす。

定例行事計画

月日	行事名	内 容
各誕生日	誕生日会	在籍児童の誕生日会

年 2 回	個別レクリエーション	信頼関係構築のため寮生・職員との個別対応
10 月 8 日	バーベキュー会	OB を誘ってのバーベキュー大会
11 月 19 日	ディズニー旅行	寮生・職員による日帰り旅行
12 月 25 日	クリスマス会	寮生・職員によるパーティー

会議活動計画

月日	会議名	内 容
毎月第 1 金曜	職員会議	前職委での懸案事項・業務改善に向けた検討
第 3 木	アフターケア会議	法人内各部署のアフターケアに関する情報の共有・検討等
年 4 回	寮生ミーティング	寮生と職員との懇談ならびに協議

内部研修計画

月日	研修名	内 容
年 2 回	事例検討会	外部講師による事例検討会

行事食計画

月日	行事名	内 容
各誕生日	誕生日会	対象児童の嗜好メニュー提供
該当月	就業継続祝い	就業から 1 年継続した場合、希望外食を個別提供する
		その他あいむに準ずる

防災訓練計画

月日	消防の派遣	内容
6 月 24 日	無	通報・避難訓練 (火事)
9 月 23 日	無	通報・避難訓練 (水害)
1 月 27 日	無	通報・避難訓練 (火事)

地域ボランティア活動計画

月日	内 容
毎月第 1 日曜	MIRAI 近隣の掃き掃除及びゴミ収集

健康診断計画

月日	内 容
8 月 3 日 10 日	一般健康診断
2 月 15 日	夜勤従事者健康診断

清掃計画

月日	内 容
毎日 8 時	MIRAI 屋内外の清掃・整理整頓
毎月第 1 週	在籍児童居室の状況確認及び整理整頓
12 月 11 日	全職員・全寮生での大掃除

福利厚生計画（職員）

月日	内 容
年 3 回	内規に沿い 1 人年 3 回（1 回 3,000 円）支給し親睦を深める
年 1 回	法人忘年会に積極的に参加する

4-1. 児童発達支援センターかしのみ学園

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行い利用園児の安全に配慮し、地域の中核的な児童発達支援センターとして、祝日・土曜日を開園し 23 日の支援を提供していることを強みとしサービスの提供を行う。また、児童発達支援センターかしのみ学園（定員 30 名）の児童発達支援事業・保育所等訪問支援事業をはじめ、同一敷地内に併設する相談支援事業所こっと（障害児相談支援事業）及び多機能型重症児支援ルームかしのみ（定員 5 名・児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業）が、それぞれ有機的な連携を図り、利用園児の発達と家族支援を中心に専門機能を発揮するように努める。昨年度よりの継続方針としてご利用者からのニーズに明確な返答ができるように、職員は利用園児の特性を「把握」「評価」することで「根拠」のある個別や集団の療育活動を行う。その為に職員一人ひとりが知識の習得に努め、責任と自覚を持って業務に当たり、日々の療育活動の改善への意欲を持つ必要がある。また、職員の資質向上と能力開発を図るために資格取得研修や専門家が講師となる外部研修への参加を促し、施設内研修の内容を充実するなど、人材の育成に継続して努める。

年間目標、取り組み：

1. 目標：継続して子どもの個別支援目標を保護者・職員と共有し、根拠のある療育活動を行う。

取り組み：保護者・家族のニーズを確認し、毎月のクラス会議で子どもの特性を把握・評価することで根拠のある支援目標を作成していく。

2. 目標：継続して全職員が提供する療育活動の知識を深める。

取り組み：山梨県強度行動障害支援者養成研修受講者の受講を行う。また、全職員が専門家による外部研修（リモートを含む）へ参加する。

児童発達支援管理者

年間目標、取り組み：

1. 目標：適切な個別支援計画を立てる。

取り組み：個別支援の質を高めていくために、外部講習による児童発達支援の考え方や手法の基礎を固め、個別支援計画の立案、職員への助言、家族への適切な助言を行い、協働して児童の発達支援を行う。

2.目標：平日各曜日の登録児童数を各クラス 11 名、平日平均 25 名以上を目指す。

取り組み：相談支援事業所にこっとと連携し、利用者の状況を把握しながら利用児童の確保に努める。

児童指導員/保育士

1.年間目標、取り組み：児童発達支援管理責任者とクラスリーダーが連携し、自立支援計画の作成やそれに基づく適切な療育を行う。また、保護者とのモニタリングには出来る限り同席し、相談助言スキルの向上も合わせて行う。

理学療法士

目標・取り組み：園児の情報を保護者と共有し、児童の身体機能の向上・維持と低下予防に努める。
最終目標は、日常生活応用動作の獲得とする。

4-2. 保育所等訪問支援事業かしのみ

2021 年度は、障害のある児童の早期療育の意識が浸透しており、それに伴い併行通園のニーズが高く、保育所等訪問支援事業のニーズも高まっている。相談支援事業所にこっとが併設されていることを強みに、特別な支援を必要とする児童に対して、児童が一人で何かをできるようになることをサポートし、地域の児童との集団生活や集団生活の場に適応することができるよう、心の支援・発達論による支援・行動への支援・環境調整による支援・周囲の人の連携による支援を行うものとする。

保育所等訪問支援を通して、かしのみ学園・にこっと・児童の在籍する園・保護者と共有し、一貫した支援を行い、児童の成長・発達を共に喜び合うようになることで、児童にとって安心・安全に過ごせる環境になることが期待できる。

年間目標、取り組み：

1.目標：児童発達支援センターかしのみ学園、相談支援事業所にこっとや他の相談支援事業所と連携を図りながら、サービスを必要としている児童・保護者・在籍機関との調整をおこない、必要な支援を提供する。保育所等訪問支援事業の拡大と質の向上を目指し、かしのみ学園としての保育所等訪問支援事業の基礎を築いていく。今年度は訪問件数 15 件以上を目標とする。

取り組み：1 時間～1 時間半程度の直接支援を行った後に 30 分～1 時間程度の間接支援を行う。

児童・保護者・在籍する園からのニーズを引き出し、支援計画・支援内容に反映していく。また、必要に応じペアレントトレーニングを行い、児童への対応について助言・提案をしていく。

4-3. 多機能型重症児支援ルームかしのみ

2021年度は放課後等デイサービスを新たな事業として加え、スタートとなる。児童発達では昨年までの2年間築き上げてきた、医療、行政、または他事業所とのネットワークを強みに、引き続き在宅重症心身障害児へ、一貫した療育、医療的ケアを行うことで、個々の持てる力を引き出し、発達を促していくことに努めていく。放課後等デイサービスとしては、支援を必要とする障害のあるお子さまに対し、学校や家庭とは異なる、時間、空間、人、体験など通じて個々の子どもの状況に応じた発達支援を行い人と関わる事への関心が育ち、コミュニケーションをとる事の楽しさを感じることができるよう支援することに努めていく。

年間目標、取り組み：

1.目標：利用する対象児一人ひとりの疾患や病態生理を把握、理解した上で、個々の特性に即した支援、療育を行い発達を促していく。

取り組み：対象児の関わる医療機関、学校等と連携を図り日常生活上の留意点を共有し最善の療育を行う。医療機関や他事業所と共有した情報はクラスのスタッフとも共有し、必要時には勉強会なども行う。

児童発達支援管理者

1.目標：適切な児童発達支援計画を立てる。

取り組み：対象児それぞれの状況の把握をする。また、各園児の発達段階を踏まえた上で支援の質の向上を目指すため、日々の業務終了後カンファレンスの場を設け、支援に繋げていく。

2.目標：利用契約児童数を確保する。

取り組み：対象児一人ひとり、それぞれの体調管理を行い、また、相談支援事業所にこつととも連携して、平日の平均利用者、4～5名の確保をしていく。

看護師

1.目標・取り組み：対象児一人ひとりの情報を保護者やスタッフと共有し、適切な看護業務を行う。

児童指導員/保育士

1.目標・取り組み：対象児一人ひとりの状況を把握し、個別支援計画に基づいた適切な療育を行う。

理学療法士

1.目標・取り組み：園児の情報を保護者と共有し、児童の身体機能の向上・維持と低下予防に努める。最終目標は、歩行能力の獲得とする。

4-4. 相談支援事業所にこっと

2021年度は、これまで築き上げてきた利用者・各関係機関（行政・教育・医療）との関係性を軸として、地域ネットワークや社会資源を効果的に活用し、相談窓口の中核的な役割を担っていく。さらに各利用者（児童）についても継続的に各関係機関と情報を共有し、計画書やモニタリングを通して共通理解のもと協働していきながら、利用者（児童）が安心して生活が送れるよう支援をすすめていく。またかしのみ学園・多機能型重症児支援ルームかしのみとで連携・協働しながら、地域に潜んでいる課題やニーズを抽出し情報を共有していくことで、新規利用者（児童）の確保に努めていき安定した稼働率の水準が保てられるようにしていく。

- 1.目標・取り組み：かしのみ学園・多機能型重症児支援ルームかしのみの安定した稼働率水準を保つため、各児童発達支援管理責任者と連携・協働していくとともに、相談員部会への出席を通して新規利用児童の情報収集に努め必要時に紹介を行っていく。

栄養士（株式会社サンワフーズ）

- 1.目標・取り組み：クラス担当職員と児童の状況を共有することにより、児童の食物アレルギーを理解し、栄養バランスの摂れた食事を提供する。

事務局

- 1.目標・取り組み：提出日・郵送・発注の期限を守り書面を正確に管理作成する。また、電話対応及び来園者への接客対応を丁寧に行う。

定例行事計画

月日	行事名	内 容
4月1日	2021年度入園式	入園式（入園児保護者参加）
7月7日	七夕会	子どもたちと七夕を祝う
7月12日	プールはじめ	8月末迄活動として行う
8月20日	夏祭り	子どもたちと夏祭りを行う
8月24日	交通安全教室	「さちかぜごう」による交通安全教室
10月2（予備6日）	運動会	園庭（甲府支援学校体育館）で運動会を行う
11月6日	遠足	遠足を行う（保護者参加）
12月11日	保護者参観日	療育の様子を見学して頂く（保護者参加）
12月24日	クリスマス会	子どもたちとクリスマスを祝う
12月28日	餅つき	子どもたちとあいむで合同餅つき
2月3日	節分の会	子どもたちと豆まきをして健康と安全を祝う
3月25日	2021年度卒園式	卒園式（卒園児保護者参加）
4月1日	2022年度入園式	入園式（入園児保護者参加）

会議活動計画

月日	会議名	内 容
毎営業日	定例朝礼会議	園児数・1日の流れ・ヒヤリハット・伝達事項の確認
毎月第一金曜日	全体職員会議	研修・諸伝達・業務上重要事項の共有・委員会活動
毎月第三週火・水・木曜日	クラス会議	個別支援計画・クラス運営全般を検討
毎月第二火曜日	クラスリーダー会議	新規児童受入れ伝達、クラス状況の確認、業務見直し等

委員会活動計画

月日	委員会名	内 容
毎月第一金曜日	給食委員会	調理・献立・仕入れ等に関する確認や検討と児童への嗜好調査。
	虐待防止委員会	虐待予防自己評価チェックシートの記載依頼。職員への啓発活動。
	ヒヤリハット委員会	ヒヤリハットノート・アクシデント報告書の集計。職員への啓発活動。
	防災・防犯委員会	園児へのポスター作製。職員への啓発活動。
	感染症防止委員会	各種感染症。感染症の流行状況の確認。園児ご家族へのお知らせ、職員への啓発活動。
毎月	研修委員会	職員のスキルアップの為、内部研修の企画・実施の検討と研修資料の管理。
	各行事担当委員会	各年間行事の企画実行。
	各月誕生会(持ち回り)	誕生会の企画実行。

内部研修計画

月日	研修名	内 容
5月	標準予防策	スタンダードプリコーションについて
6月	救命救急	水遊びのプール設置前の救命救急
7月	リスクマネジメント	ヒヤリハットの活用
9月	人権擁護・虐待研修	体制確認と虐待研修
10月	感染症・嘔吐処理	感染症対策
2月	摂食・嚥下	食事時の留意点の確認
随時	自由参加研修	運動遊びとダンス・手遊び・DVD研修等

行事食計画

月日	行事名	内 容
5月6日	子どもの日	鯉のぼりオムライス かしわもち(おやつ)

6月4日	虫歯予防デー	ひじきごはん
7月7日	七夕	七夕そうめん 七夕ゼリー (おやつ)
7月21日	海の日	海カレー
8月6日	山の日	オムライス 富士山ゼリー (おやつ)
9月21日	十五夜	お月見大福 (おやつ)
10月29日	ハロウィン	おぼけハンバーグ ハロウィンゼリー (おやつ)
12月24日	クリスマス	タンドリーチキン
1月7日	七草	葉飯
2月3日	節分	節分ボール (おやつ)
3月3日	ひなまつり	ちらし寿司

防災訓練計画

月日	消防の派遣	内容
4月9日	消火訓練	初期消火及び避難訓練
5月6日	地震訓練	避難訓練・誘導灯の確認
6月7日	火災訓練	通報訓練及び避難訓練
7月6日	消火訓練	避難訓練・水消火器での消化訓練
8月4日	水害訓練	児童養護施設あいむに避難・合同訓練
9月2日	火災訓練	初期消火・避難訓練
9月24日	防犯訓練	不審者が侵入したと想定し訓練
10月1日	引渡訓練	保護者への引き渡し訓練
11月1日	地震訓練	誘導避難訓練
12月7日	火災訓練	初期消火及び避難訓練
1月5日	火災訓練	初期消火及び避難訓練
2月2日	地震訓練	避難・誘導訓練
3月4日	火災訓練	初期消火及び避難訓練

健康診断計画

月日	内容
5月12日	園児内科検診 (大沢医院)
6月23日	園児歯科検診 (湯村歯科)
8月3日	職員定期健康診断
8月10日	職員定期健康診断
10月6日	園児内科検診 (大沢医院)
2月9日	園児歯科検診 (湯村歯科)

清掃計画

月日	内 容
11月13日	全館内清掃業者による館内清掃
6・7・8・9・10・12・2・4月	グリストラップの清掃
6・9・12・3月	給食室の害虫駆除
12月11日	大掃除

5-1. 介護老人保健施設 甲府相川ケアセンター

2021年度は、介護報酬の改定もある為、改定内容の確認をしながらの施設運営を進めていく。また、昨年度より取り組んでいる在宅復帰支援についても、在宅での生活と施設での生活を繰り返していく中でその方の人生を支えていくことを介護老人保健施設の役割として進めていく。昨年度（4月～1月）は、のべ7名の方にたいして在宅への退所支援が行えた。在宅と施設を利用するサイクルでの生活支援が行えた。今後も多職種が一つとなり、入所前から退所後の支援をしていく。同時にターミナルケアについても継続していく。昨年度（4月～1月）8名の方をお見送りさせていただいた。今後も在宅支援からターミナルケアまで利用者の多様なニーズへの支援をしていく。

また、昨年度は新型コロナウイルスの影響で研修会への参加など職員のスキルアップにつながる活動がほぼ行えなかった為、今年度は感染状況などの状況をみながらにはなるが、ユマニチュードなどの手法を学び、ケアの質の向上と甲府相川ケアセンターの特色を見出していく。

年間目標、取り組み：

1.目標：ユマニチュードを学び、甲府相川ケアセンターの特色の一つとしていく。

取り組み：ユマニチュードの研修会などへの参加や文献を参照しながら学び、伝達をしていく。

2.目標：内外の研修参加を増やしていき、職員のスキルアップと育成をしていく。

取り組み：内外の研修への参加をしていくことで、個々の知識の向上と伝達をすることでのチームのレベルアップをしていく。

5-2. 甲府相川ケアセンター通所リハビリテーション

2021年度は、前年度取り組んだレクリエーション活動の充実をさらに発展させ、リハビリテーションの「活動」と「参加」の要素に働きかけた季節ごとの行事やイベントを通じて、ご利用者の生活に楽し

みと継続した社会参加の機会を提供していく。高齢者は、心身機能が低下することにより外出など社会参加の機会が減少し、生活意欲の低下につながりやすい。デイケアを利用することで社会参加の機会、リハビリで心身機能、レクリエーションで生活意欲の向上にアプローチをしていき、笑顔とぬくもりの接遇で「デイケアに行くのが楽しみ」と感じていただけるサービスを提供していく。

年間目標、取り組み：

1.目標：季節ごとの行事やレクリエーション活動の充実を図る。

取り組み：年間行事のスケジュールを作成し月に1回は、実施していく。

2.目標：月平均利用者数27名（84.3%）を目指す。（通所支援相談員）

取り組み：31名の各曜日登録者数を維持していく。

5-3. 甲府相川ケアセンター居宅介護支援事業所

2021年度は、新たな体制になって2年目を迎えることもあり、相互の連携や協働を図るためにコミュニケーションを密にしながら、より働きやすい職場環境を整えていく。毎月開催している居宅会議の中で、事例検討や困難事例に対する勉強会の機会を持つだけでなく、日頃から連携を密にすることで、課題を共有するだけでなく、担当者が不在でも、チームとして適切に支援できる体制づくりを目指す。そして、実施指導で指摘を受けた項目については、事業所として是正・改善に取り組み、質の高いケアマネジメントが遂行できるように取り組む。同時に、給付者数、通所の紹介数も高い数値目標を継続して達成するために、北東包括支援センターや相川ケアセンター通所相談員と目標を共有しながら連携していく。

年間目標、取り組み：

1.目標：毎月100名の給付者数（介護・予防の合計）、毎月33名の通所リハビリ紹介数（介護・予防の合計）を維持する

取り組み：事業戦略会議の中で、地域のニーズや数値的な分析を行い、包括や通所とも連携しながら、目標を共有し給付者数、紹介数の安定を図る。

2.目標：実地指導で指摘を受けた項目を是正し、ケアマネジメントの質の向上を図る

取り組み：実地指導で指摘された項目を居宅会議等の中で見直し、改善を図ることで質の高いケアマネジメントを1年かけて遂行する。

5-4. 甲府市北東地域包括支援センター

2021年度は地域において新型コロナウイルスの影響で生活に支障が出て、困っている高齢者を早期発見し、適切な支援に繋げることを目標としていく。

昨年は地域で外出や他者との接触を避けることが要因となり、心身機能が低下し、在宅生活に支障をきたす高齢者が多く、総合相談が増加傾向であった。総合相談ではすでに困っている状況からの支援であり、支援できる内容も限られてしまっている。

介護予防の視点で、元気アップチェックの対応件数を増やしていくことが、困っている、または介護予防になる前の高齢者の早期発見に繋がると思われる。

昨年は職員も総合相談や自分が担当している利用者宅には感染予防対策をし、訪問はしたが、元気アップチェック訪問に関しては、基本的に訪問は避け、電話対応で行うこととした。電話だと拒否も多かったため、対応件数が昨年より増えない状況となった。今年度は元気アップ訪問が出来るようにしていく。

年間目標、取り組み：

1.目標：2021年度は年間元気アップ対応数 200 件を目標とする。

取り組み：毎月職員一人元気アップ対応を 3 件以上行う。

各課・フロア年間目標、取り組み

看護課

1.目標：看護の質の向上に努める

取り組み：日々の業務の中で疑問点、改善点を見出し、勉強会及び資料を共有しながら知識・技術の更新を図っていく。

介護課 1 階フロア

1.目標：認知症ケアについての具体的な技術を勉強し、習得する。

取り組み：各月ごとに職員の学びたいことや認知症のケア技術を学んでいく。

会議に勉強会、または資料配布や業務内に各自に勉強の時間を作る。

介護課 2 階フロア

1.目標：介護ケアにおける技術と知識の向上を目指す。

取り組み：月ごとに担当講師を決め、テーマを考えてそれに沿った資料作成及び配布をおこない、介護ケアの知識を深めていく。

リハビリ課

1.目標：職員の資質の向上と、個々のご利用者様の QOL の向上を目指す。

取り組み：症例検討や学習会を中心にリハビリ内容の検討を行っていく。

栄養課

1. 目標：お客様に満足して頂ける安全な食事提供と楽しい食事を提供する。

取り組み：会議にて個人の食事形態の検討と行事食の充実を図る、献立内容検討を月1回行う。

支援相談員

1.目標：在宅復帰率 30%を目指し維持する。

取り組み：施設長、看護、介護課等と協力しながら極力、入院退所者を出さないように対応していきながら、同時に在宅復帰希望者の受け入れ割合を増やしていく。

介護支援専門員

1.目標：担当者会議の家族参加率を 70%、長期入所者の意向確認をしていき在宅復帰を推進していく。

取り組み：担当者会議には家族が極力参加できるよう日程調整をしていき、在宅復帰に対する意向確認を行い、ニーズや可能性がある方には在宅復帰の提案をしてケアマネジメントをしていく。

事務局

1.目標：来訪者、利用者への迅速丁寧な対応と面会制限での面会等の対応をしていく。

取り組み：来訪者が来られた際には素早い対応をしていき、また、面会制限中の面会対応を現場職員と協力しておこなう。

定例行事計画

月日	行事名	内 容
3月～4月	お花見	ご利用者と施設敷地内等で、お花見をする。お花見弁当やお菓子やジュースを提供して、日頃と違う雰囲気での食事等を楽しんでいただく。
7月17日	納涼祭	ご利用者、ご家族、地域の方々、ボランティアや職員が参加をして、盆踊りや屋台などをおこない、夏の季節を楽しんでいただく。
9月10日	敬老会	ご利用者の長寿を祝う。しらゆり幼稚園の園児を招いて、歌や楽器演奏を披露していただきながら交流をしていく。
11月1日～12日	文化祭	玄関ホールにご利用者、ご家族、ボランティアや職員が作成した作品を展示していく。
12月21日	クリスマス会	光の森こども園園児とクリスマスを祝い、歌や楽器演奏を披露していただき、プレゼント交換をしていく。

会議活動計画

月日	会議名	内 容
毎週水曜日	入退所検討会議	ご利用者の状態や家庭環境などを把握し、入所・退所・継続の適切な検討をする。

毎週水曜日	リーダー会議	施設全体・各セクションの情報共有、業務の見直し、ご利用者・職員状況の把握をして、施設全体としてチームケアシステムを構築していく。
毎週水曜日	担当者会議	ご利用者・ご家族へ状況等をお伝えするとともに、各担当職員との話し合いを基に、ご利用者の自立支援のためのケアプランを作成し、より良い生活支援が提供できるように努めていく。
毎月第2月・火・木・金	各課・フロア会議	学習会の実地、業務の見直し・改善やご利用者の情報を共有し、各課・各フロアでチームとしての質の向上に努めていく。（毎月開催できない場合においても、少なくとも偶数月には開催をしていく。）
毎月第2月曜日	居宅会議	各ケアマネの支援状況の確認、ケース検討、法令順守等の研修。
毎月第2・4火曜日	包括会議	業務予定と進捗状況の確認。個別事例の検討。
毎月第4金曜日	事業戦略会議	法人本部と連携し、事業運営の健全化を図るとともに、地域に根ざしたオンリーワンの施設を目指す。

委員会活動計画

月日	委員会名	内容
毎週第1月曜日	ケア向上委員会	ご利用者へのケア向上について検討をしていき、勉強会など企画、運営をし、職員の知識やケアのスキルアップにつなげていく。
毎月第1火曜日	栄養管理・食事向上委員会	ご利用者の栄養計画に基づく管理、嗜好調査、行事食の立案、食形態の研究等をしていながら、食事に関する質を高め、美味しく食べていただく。行事食などを企画立案して楽しく食事をしていただく。
毎週水曜日	リスクマネジメント委員会	リスクに対しての報告や改善対策などを検討する。年2回リスクマネジメント研修を開催し、リスクマネジメントについての知識や技術を習得する。
毎月第1木曜日	倫理・接遇委員会	ご利用者、職員に対する接遇についての目標を提示し、結果の分析をしながら、施設内の倫理、接遇を向上していく。
毎月第1金曜日	行事・レクリエーション委員会	行事・レクリエーションの企画立案、準備、実施を行い、ご利用者に季節の行事や日々の余暇活動を提供して、たのしんでいただく。
不定期開催	ターミナルケア委員会	ターミナルケア対象者のニーズを確認し、各専門職から看取り状況報告や看取り終了後の振り返りをしていく。

内部研修計画

月日	研修名	内 容
4 月	労務・服務・倫理	職員の労働条件・服務規律・職業倫理について学習する。
8 月 9 日～31 日	事故防止・感染予防・身体拘束廃止	RM 委員会主催の事故防止・感染予防・身体拘束廃止についての研修会をする。
12 月 9 日～31 日	事故防止・感染予防・身体拘束廃止	RM 委員会主催の事故防止・感染予防・身体拘束廃止についての研修会をする。
2 月 12 日	職員健康衛生	RM 委員会主催の職員健康衛生に関する研修会をする。
3 月 10 日	防災機器	防災機器使用方法の研修。

行事食計画

月日	行事名	内 容
4 月初旬	お花見	お花見弁当
4 月 12 日	武田神社の祭り	桜おこわ・桜餅
5 月 1 日	八十八夜	茶めし
5 月 5 日	端午の節句	柏餅
6 月 16 日	麦とろの日	麦とろろご膳
7 月 7 日	七夕	七夕ちらし
7 月 10 日 (17 日)	納涼祭	屋台メニュー (焼きそば・焼き鳥・フランクフルト等)
7 月 28 日	土用丑の日	うな井
9 月 10 日	敬老会	敬老祝御膳 (太巻き・稲荷)
9 月 20 日	敬老の日	栗お赤飯
9 月 21 日	十五夜	月見団子
9 月 24 日	秋のお彼岸	おはぎ
10 月 18 日	十三夜	月見メニュー
11 月 2 日	お楽しみ握り寿司	握り寿司 (魚の解体ショー)
12 月 22 日	冬至	かぼちゃぼうとう
12 月 24 日	クリスマスイブ	クリスマスメニュー・ (クリスマスケーキ)
12 月 31 日	大晦日	年越しそば
1 月 1 日～3 日	お正月	新春お祝い御膳・雑煮
1 月 11 日～13 日	餅つき	各フロアー
1 月 7 日	七草	七草粥
2 月 3 日	節分	大豆じゃこご飯・いわし
2 月 13 日	厄除け地蔵	きりざんしょ
3 月 3 日	ひな祭り	ちらし寿司・甘酒・ひなあられ
3 月 18 日	春のお彼岸	ぼたもち

防災訓練計画

月日	消防の派遣	内容
6月10日	無し	土砂災害想定防災訓練（通報・2Fへ避難）
10月14日	有り	日勤想定防災訓練（通報・避難・初期消火）
3月17日	無し	夜間想定防災訓練（通報・避難・防災機器備品説明）

地域ボランティア活動計画

月日	内 容
10月3日	相川福祉と健康祭りへ参加をし、相談ブースを設けていく（地域貢献活動）
11月23日	武田神社清掃奉仕活動へ参加をする
11月	包括支援センター開催の家族介護教室に参加をして活動をする（地域貢献活動）

健康診断計画

月日	内 容
8月3日	職員一般検診（1日目）
8月10日	職員一般検診（2日目）ストレスチェック回収
8月24日	入所者胸部レントゲン
2月15日	夜勤職員検診

清掃計画

月日	内 容
毎日10分間	各部署で所定の時間帯で清掃活動をする。デイ・居宅・包括は営業車の清掃を行う。
6月12日	全館、敷地内の清掃活動を行う。（全員出勤）
12月11日	全館、敷地内の大掃除をおこなう。（全員出勤）

福利厚生計画（職員）

月日	内 容
5月	山梨県老人保健施設協議会ソフトボール大会
11月	山梨県老人保健施設協議会ボーリング大会
10月～11月	職員旅行

6-1. 特別養護老人ホーム ゆめみどり

2021年度は、昨年度に続き、新型コロナウイルスへの感染対策を行いながら、ゆめみどりで暮らす入居者にとっての新しい生活様式の確立を目指していききたい。そのために、これまで取り組んできているユニットケアを改めて学び、理解を深めることで、組織やチームとして足元を固め、個々の入居者に合わせたケアの提供に結び付けていく。

入居者個々の想いに組織として応えられるよう、ユニットケアに関連する研修会や施設内勉強会への参加を推進したり、委員会内でも個別ケアの考え方に意識を置きながら、知識や技術の向上を図り、どの職種においても自信を持って個別ケアが提供できるようにしていきたい。また、入居者にとっての家であるユニットで過ごす「お家時間」が充実したものとなるようにする。そのためには、一家の大黒柱であるユニットリーダーを中心に、入居者一人ひとりの余暇にも目を向けた関わりや活動を行っていく。

入居者のご家族に対しては、これまでの関係性や繋がりが途切れることなく、大切な存在であり、共に支援をしていく協力者であり続けるために、職員から積極的にアプローチをしていく。

年間目標、取り組み：

1.目標：個別ケアを推進するために、職員一人ひとりの自立と組織力を高める。

- 取り組み：①個別ケアを正しく実践できるように、個別ケアやユニットケアに関連した研修会への参加推進や施設内で学ぶ機会を作る。
- ②職員が個々に役割を持ち、毎月の委員会活動を計画的に、個別ケアを意識しながら行う。
- ③面会時だけでなく定期的な電話連絡を行い、ご家族に暮らしの様子を伝えたり、暮らしに対する希望を聞くようにする。

2.目標：地域との繋がりを深める。

- 取り組み：①地域の方との交流の場に参加したり、ボランティアへの定期的な連絡を行う。

6-2. ゆめみどりデイサービスセンター

2021年度は、それぞれの地域の高齢者の皆さんが、住み慣れたふるさとでいつまでも生活を続けていけるように「地域に安心を提供」し、在宅支援によって「在宅に安心の提供」をする。この二つの目標に向かって「自分たちに何ができるのか」を考察し、より上質なケアを目指し邁進していく。その為に職員一人一人が「なぜ」を常に仕事に持ちながら創意工夫、提案を行っていく。

多様化するニーズに対応できるよう、新たな知識技術の獲得を目指し、施設内勉強会等の機会を使いながら自己研鑽に努めていかなければならない。今まで以上に「能動的に働く力」を身に付け、ご利用者、ご家族に信頼していただけるサービスの提供に一意専心していく。まずは今まで培ってきた技術、

知識を生かしながら地域の「今」、ご利用者の「今」に寄り添い、地域福祉の基盤としての役割を果たしていく。

年間目標、取り組み：

1.目標：地域から選ばれる事業所になる。

取り組み：①感染予防を徹底し、ご利用者に喜んで頂ける季節に応じたレク活動を提供する。
②無事故、無違反、無クレームの送迎を実施する。

6-3. ゆめみどり居宅介護支援事業所

2021年度は、ご利用者が要介護状態になった場合においても可能な限り「住み慣れた地域でいつまでも笑顔で元気に安心して暮せるように」支援することを目指す。そのため、ご利用者の心身の状況、その置かれている状況の課題分析を十分に実施し、出来る限りご利用者自らの選択に基づき適切且つ多様な医療保険サービス及び福祉サービスが提供されるようにしていく。

また、ご利用者及びその介護者等に関するニーズに対応した各種の保険・福祉サービスが総合的に受けられるように関係行政機関、サービス実施機関等との連絡調整を行い、ご利用者及びそのご家族の福祉の向上と地域共生社会の実現の一役を担えるよう努めていく。

年間目標、取り組み：

1.目標：年間平均給付管理者数 36 件以上（介護 35 件・予防 8 件以内）を目指し、取得出来る加算（入院時・退院時連携加算）を算定する。

取り組み：①毎月の給付管理者数の動向を管理し、状況に応じて迅速に新規利用者の確保に努める。
②入退院者が生じた際には、医療機関との連携を迅速且つ密に行う。

各課・ユニットの年間目標、取り組み：

介護課

1. 目標：暮らしの意向が記された 24H シートを活用し、その暮らしぶりを記録に残すことができる。
取り組み：委員会を中心に 24H シートの標準化を図り、個別ケア・ケース記録に関連した勉強会を年 2 回開催する。

A1 ユニット

1. 目標：毎月 2 名の入居者に、暮らしに関する意向調査を行う。

取り組み：①毎月 2 名の入居者をピックアップし、項目別にニーズに合った意向調査をする。

②上記で得た情報を1カ月かけ、月3回以上実施する。

A2 ユニット

1. 目標：入居者との関わりを深く持つ。

取り組み：週に1回、セミパブリックスペースにて入居者と一緒にお茶をする。

B ユニット

1. 目標：入居者同士が関係を築きながら、楽しみを持って生活できる。

取り組み：毎週日曜日に歌会や体操など、少人数で集まり楽しめる場をつくる。

C1 ユニット

1. 目標：入居者一人ひとりの楽しみを見つけていく。

取り組み：月に2名の入居者の楽しみとなるようなものを探し提供する。

C2 ユニット

1. 目標・取り組み：毎月1名の入居者に希望を聞き、その希望に沿ったレク活動を提供する。

D1 ユニット

1. 目標：24H シートの見直しとともに余暇の充実を図る。

取り組み：24H シートの見直しを月に1名以上行う。

D2 ユニット

1. 目標：入居者の余暇の時間を楽しいものにしていく。

取り組み：週に2日、入居者とお茶を飲みながら談笑できる時間を作る。

医務室

1. 目標：入居者の体調不良の際に、多職種との報告、連絡、相談を徹底して行う。

取り組み：月に1回、多職種を交え医務会議を開催する。

生活相談員

1. 目標：年間入居稼働率 98.6%を目指す。

取り組み：空きベッドができる前に、入居予定者の情報を1名準備する。

介護支援専門員

1. 目標：入居者、家族の生活に関する意向に基づき、24H シートと連動したプランを作成する。

取り組み：サービス担当者会議の家族参加率 80%を目指す。家族参加が難しい状況の時は、会議前に家族の意向を必ず聞く。

管理栄養士

1. 目標・取り組み：楽しみの一つとなるような食に関する特別な取り組みを、月に1回以上行う。

生活相談員（デイ）

1. 目標：月間稼働率 70%以上を目指す。
 取り組み：①1日 30名の登録者を確保する。
 ②毎月 10事業所以上に足を運ぶ。

事務室

1. 目標・取り組み：感染症対策の徹底と利用者の見守りを強化する。
 取り組み：①来訪者に対し、適切な声掛けと感染症対策の実施。
 ②デイサービスの送迎開始時には、事務所職員1名～2名で対応する。

定例行事計画

月日	行事名	内 容
7月24日	納涼祭	ゆめみどり開設15周年を記念した夏祭りを楽しむ
9月15日	敬老会	ご利用者の長寿を祝う
10月17日	運動会	楽しみながら身体を動かす機会を作る
12月29日	もちつき大会	餅つきで年末年始の平穏を祈る
1月4日	書き初め	新年の抱負をご利用者、職員が書にしたためる

会議活動計画

月日	会議名	内 容
毎月第4金	事業戦略会議	ご利用者や職員状況、事業所運営の在り方を検討・確認
毎月第4金	リーダー会議	業務報告、利用者処遇の改善、リスクマネジメント
月1回	ユニット会議	各ユニットで業務を点検し、チームケアの質の向上を図る
毎月第1水	ユニットリーダー会議	ユニットリーダーの資質向上と情報の共有を図る
毎月第2金	デイサービス会議	業務改善、利用者処遇の改善、リスクマネジメント
毎週月	サービス担当者会議	個々のニーズに合ったケアプランの検討を行う
毎月第4金	入居者検討会議	入居の可否を検討する
毎月第3木	給食会議	給食委託会社と施設との業務調整、情報の共有を行う

委員会活動計画

月日	委員会名	内 容
毎月第1木	レクリエーション・	納涼祭を主とした全体行事の企画・運営及びボランティア

	ボランティア委員会	との連携について検討と調整を行う
毎月第2水	個別ケア推進委員会	ユニットケア実践のための取り組みの検討、報告などを行う
毎月第2金	事故防止委員会	事故防止に向けた対策・対応を行う
毎月第2金	身体拘束廃止委員会	身体拘束廃止のため、基本・応用的な知識を身につける
毎月第3火	24H シート運用委員会	24H シートを理解し、標準的なシートの作成と活用ができるように取り組む。ケース記録が職員の仕事の成果として表したものであることを理解する。
毎月第4木	学習委員会	施設内研修の企画・運営、各ユニット内での学習会の検討・調整を行う
毎月第4木	感染症対策委員会	感染症予防・対策について検討を行う

内部研修計画

月日	研修名	内 容
5月27日	個別ケア	高齢者が最期までその人らしく生活を送り続けるために
6月24日	個別ケア	高齢者が最期までその人らしく生活を送り続けるために
7月15日 29日	権利擁護（虐待防止・身体拘束禁止）	高齢者の尊厳を守るために
8月26日	24H シートの活用（記録との連動）	情報を共有するために、アセスメントや記録が果たす役割とは
9月16日 30日	事故防止	事故防止について事例を用いて検討する
10月28日	レクリエーション	暮らしを支えるためにレクリエーションの考え方や役割
11月11日 25日	感染症予防	感染症対策、予防方法を学ぶ
12月23日	ターミナルケア	高齢者が最期までその人らしく生活を送り続けるために
1月27日	法令や制度の理解	介護施設で働く上で、知っておきたい法令や制度を学ぶ
2月24日	認知症ケア	認知症対応とは？症例や事例をもとに学ぶ

行事食計画

月日	行事名	内 容
毎月上旬	誕生日食	赤飯、ケーキなどのお祝い食
毎月中旬	郷土食	全国うまいものめぐりと称した郷土料理
毎月下旬	セレクト食	2つのメニューから選択
年2回	にぎり寿司	お寿司屋さんの雰囲気での握り寿司
7月7日	七夕	そうめんなど
7月24日	納涼祭	屋台（焼きそば、フランクフルト、焼き鳥など）
9月15日	敬老会	お祝い御膳（赤飯）

11月3日	文化の日	栗ご飯
12月25日	クリスマス	ローストチキン、ケチャップライス
12月31日	大晦日	年越しそば
1月1日	正月	おせち料理
1月7日	人日の節句	七草粥
2月3日	節分	恵方巻、のり巻き
3月3日	ひな祭り	ちらし寿司

防災訓練計画

月日	消防の派遣	内容
6月23日	有	日勤帯想定訓練（通報、避難、初期消火など）
12月1日	有	夜勤帯想定訓練（通報、避難、搬送など）

地域ボランティア活動計画

月日	内 容
年数回	当番月に玉川西区公会堂
12月12日	若一王子神社境内および玉川西区公会堂の大掃除

健康診断計画

月日	内 容
5月26日	職員健康診断（身体測定、血液・尿検査、胸部レントゲン、診察など）
11月	職員ストレスチェック回収
11月	夜勤職員健康診断（身体測定、血液・尿検査、診察など）
12月16日	全入居者対象結核健康診断（胸部レントゲン）

清掃計画

月日	内 容
毎日	各配属先の清掃（拭き掃除、掃き掃除、備品の整理整頓など）
12月11日	大掃除（機械浴室、喫煙所、倉庫など日常的に行わない箇所も行う）

福利厚生計画（職員）

月日	内 容
10月	職員親睦イベント（バーベキュー、日帰り旅行など）
12月11日	法人忘年会

7-1. 地域密着型特別養護老人ホーム 和楽 WARAKU

2021年度は、前年度から取り組んできた入居者の人権を守る、個別の心身の機能維持などは会議、委員会などを中心にしながら継続して取り組んで行く。アセスメントの精度を上げることにより、入居者が必要としている支援を適切な方法、タイミングで提供できるように職員で共通意識を持つことも大切である。本人を主体とした生活支援を提供できるようにしていくことで本人が心地良いと感じてもらえるような取り組みを検討し実践していく。入居される方が心地良いと感じてもらえるためには職員の生活施設における接遇意識の向上が求められる。毎日関わりを持つ入居者が不快感を持つことがないような関わり方ができるように年間を通して施設における接遇とは何かを意識付ける取り組みを行っていく。

年間目標、取り組み：

1.目標：心身の機能維持ができるような支援を行い生活意欲を持って過ごすことができる。

取り組み：生活リハビリを中心に本人の「できる」を大切にされた支援を行う

2.目標：接遇意識を高く持ち良好な関係性を築く

取り組み：ユニット会議を利用し接遇について理解し職員全員で意識し取り組む

3.目標：地域との信頼関係の構築及び連携を強化する

取り組み：①運営推進会議を2ヶ月に1回開催する。

②地域交流イベントを開催する。

③地域行事または地域活動に年1回以上は参加する。

7-2. ショートステイ 和楽 WARAKU

2021年度は、利用者の心身の状態変化や在宅での生活、家族状況や生活変化を理解しながら、適切なタイミングでショートステイを有効利用して頂けるように取り組んで行く。家族介護の状況は日々変化しており家族の心身の負担が大きくなっている方も増えている現状がある。独居高齢者、家族と2人のみ世帯など介護者への負担も増加している。ショートステイを有効利用して頂くことは家族介護負担の軽減、利用者本人の心身の機能維持にもつながり今後も在宅での生活が継続できるものとする。自分の家で最後まで暮らしたい。そのために介護サービスを提供し介護者の負担を軽減しながらも本人の楽しみも作れるように取り組んで行く。家族が急に介護ができない状況となること、何かしらの原因で独居生活ができなくなる事例も増えている中、できる限り利用者の安定した生活が維持できるようにショートステイを運営していく。

年間目標、取り組み：

1.目標：在宅生活が継続できるための支援をする。

- 取り組み：①居宅介護支援事業所、地域包括支援センターへ空き情報を伝え利用につなげる。
②登録者の在宅での生活について情報を得られる。

各課・ユニットの年間目標、取り組み

A ユニット

1.目標：本人に合わせた生活リハビリが提供できる。

- 取り組み：①一段階アップさせた見守りを行う。
②現存機能を活かした介助を行う。

BC ユニット

1.目標：個々に合わせた支援方法で整容ができるようになる。

- 取り組み：その人に合った（本人のできるを大切に）支援方法で整容を行う。

S ユニット

1.目標：見守りに力を入れた生活リハビリができる。

- 取り組み：①できない所は状況を確認しながら適切に援助する。
②荷物チェックをしっかりと行い忘れ物をしない。

医務課

1.目標：入居者の日常生活機能を維持する。

- 取り組み：入居者に声かけをし、外気浴や散歩を行う。

生活相談員

1.目標：安定した利用状況にする。

- 取り組み：①特別養護老人ホーム 年間入居稼働率 97.5%（前年比±0%）平均利用者数 28.27 人。
②ショートステイ 年間利用稼働率 88.0%（前年比+0.5%）平均利用者数 4.4 人。

介護支援専門員

1.目標：身体機能維持に視点を置いたケアプランの作成。

- 取り組み：①心身の機能維持に視点を置いたケアプランを遅滞なく作成する。
②サービス担当者会議 家族参加率 70%。

管理栄養士

1.目標：安全な食事提供と食事内容の充実。

- 取り組み：①個々に適した食事形態の充実と提供。
②喜ばれるメニューの充実（季節食・地域行事）。

事務局

1.目標：お客様に心地よく感じて頂く。

取り組み：①事務所内、玄関回りの整理整頓を行う。

定例行事計画

月日	行事名	内 容
5月5日	手作りランチ	手作りの昼食を楽しむ
6月16日	職員発表会	職員の催し物で楽しむ
7月20日	手作り夕食	季節感のある手作りの食事を楽しむ
8月6日	夏祭り	室内にてお祭りの雰囲気を楽しむ
9月20日	敬老会	入居者の長寿を祝う
10月16日	秋祭り	地域の方も参加できるイベントを行う
11月19日	焼きいも大会	手作りで焼きいもを楽しむ
12月30日	もちつき大会	もちつきで一年の平穏を祈る
1月2日	書き初め	新年の抱負を廊下に展示
2月3日	節分	節分豆まき
3月18日	お茶会	手作りおやつを楽しむ

会議活動計画

月日	会議名	内 容
第4金	事業戦略会議	利用状況や職員状況の確認をし施設運営を検討
第4金	リーダー会議	業務報告、入居者処遇の改善、リスクマネジメント
月1回	ユニット会議	日常業務の評価と修正、チームケアに質の向上を図る
毎週月曜	サービス担当者会議	個々のニーズに合ったケアプランの検討
第4月（随時）	入居検討会議	各担当者間で利用申込者が入居できるか否か検討
第3火	給食会議	給食委託業者と合同で入居者の食の安全と満足度を高める検討を行う
2ヶ月1回	運営推進会議	入居者、家族、地域代表、有識者、市職員との連携

委員会活動計画

月日	委員会名	内 容
第1木	レクリエーション委員会	入居者が参加しやすい行事の計画
第2水	認知症ケア委員会	科学的介護実践による行動心理症状の軽減
第3木	安全予防委員会	根拠に基づいた安全対策の実践
月1回以上	広報委員会	広報誌の発行、ホームページ（ブログ）更新
第4金（5・8・11・2）	身体拘束適正化検討委員会	権利擁護・高齢者虐待・身体拘束適正化の検討

第4金(6・9・12・3)	感染予防委員会	感染症まん延防止のための予防策の検討
---------------	---------	--------------------

内部研修計画

月日	研修名	内 容
新人職員採用時	新人職員研修	職員の心得、事業計画、事故予防、感染、権利擁護
4月9日	ターミナルの健康管理	ターミナルケア時の健康管理、観察(医務)
5月14日	権利擁護(認知症)	利用者の人権・身体拘束(身体拘束適正化検討委員会)
6月11日	レクリエーション	レクリエーションの意味・効果(レク委員会)
7月9日	救急法	緊急時の対応(心肺蘇生・AED他)
8月13日	介護技術	食事・入浴・排泄介助(BCユニット)
9月10日	認知症の事故予防	事故予防(年2回開催)(安全予防委員会)
10月8日	認知症の人との関わり	コミュニケーションの取り方(SAユニット)
11月14日	ユニットケア	個別ケアの基本(BCユニット)
12月10日	感染症予防	感染症のまん延防止基礎知識(年2回開催)(感染委員会)
1月14日	認知症と水分ケア	水分ケアと行動心理症状(認知症ケア委員会)
2月11日	アセスメントの書き方	アセスメントの視点・書き方(生活相談員)
3月11日	ターミナルケア	ターミナルケアの在り方(SAユニット)

行事食計画

月日	行事名	内 容
4月	お花見	お花見御膳、甘酒
4月12日	武田神社の祭り	桜ご飯
5月1日	八十八夜	茶飯
5月5日	端午の節句	柏餅
5月5日	バーベキュー	野外料理
6月16日	麦とろの日	麦とろろご飯
7月7日	七夕	七夕メニュー
7月20日	夕涼み	流しそうめん
7月28日	土曜丑の日	うな井
8月6日	屋台メニュー	夏祭りの雰囲気味わいながら食事
8月13日	お盆	安倍川もち
9月20日	敬老の日	敬老祝御膳
9月21日	十五夜	月見団子
9月24日	秋彼岸	おはぎ
10月16日	地域交流会	お楽しみメニュー
10月18日	十三夜	月見団子
11月11日	にぎり寿司	お楽しみ握り寿司

12月22日	冬至	かぼちゃぼうとう
12月25日	クリスマス	クリスマスランチ・ケーキ
12月30日	餅つき	餅つき
12月31日	大晦日	年越しそば
1月1日	お正月	新春お祝い御膳・雑煮
1月7日	七草	七草粥
1月15日	小正月	小正月団子
2月3日	節分	豆まき
2月13日	厄除け地蔵	きりざんしょ
3月3日	ひな祭り	華ちらし・甘酒・ひなあられ
3月18日	春彼岸	ぼたもち
3月25日	開設記念日	和楽御膳
毎月	誕生日	誕生日メニュー

防災訓練計画

月日	消防の派遣	内容
8月12日	あり	夜間帯想定訓練（通報・避難・初期消火）
2月14日	なし	日勤帯想定訓練（通報・避難・初期消火）

地域ボランティア活動計画

月日	内容
9月、3月	市内一斉河川清掃
7月	側溝清掃
9月	神明神社お祭り

健康診断計画

月日	内容
8月3日10日	全職員対象健康診断（身体測定、血液検査、尿検査、胸部レントゲン、診察 etc）
8月4日	全入居者対象結核健康診断（胸部レントゲン）
2月15日	夜勤職員対象健康診断（身体測定、血液検査、尿検査 etc）

清掃計画

月日	内容
毎日	毎日の清掃計画以外でも落ちているゴミや汚れはその場で清掃を行う
毎日	汚物室清掃（SAユニット）
毎日	洗濯機、乾燥機の清掃（BCユニット）
毎日	医務室洗面台清掃（医務）

毎日	送迎車清掃（事務）
毎日	相談室・地域連携室テーブル拭き（事務）

福利厚生計画（職員）

月日	内 容
12月	法人忘年会